

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：10月英国消費者物価

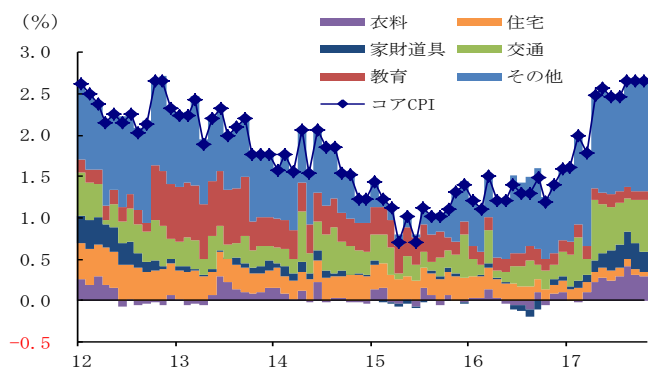
発表日：2017年11月14日(火)

～原油一段高の影響はこれから～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

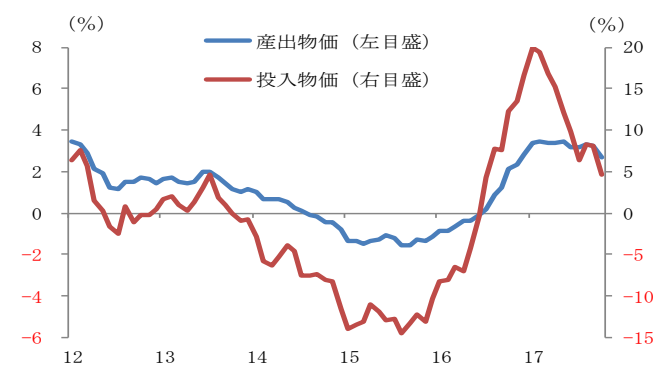
- 10月の英国の消費者物価は前年比+3.0%と、2012年4月以来の3%台に乗せた前月(同+3.0%)から不変。内訳は、食料品(前月：同+3.0%→今月：同+4.0%)、アルコール飲料(同+2.6%→同+2.9%)の上昇率が前月から加速した一方で、エネルギー(同+5.8%→同+4.8%)、たばこ(同+5.4%→同+5.3%)の上昇率が鈍化し、これを相殺した。コア物価は前月から不変の同+2.7%。
- コア物価の内訳は、衣料・履物(同+3.3%→同+3.2%)、家財道具(同+4.0%→同+3.1%)、通信(同+2.0%→同+1.7%)、雑費(同+1.4%→同+0.9%)が前月に引き続き鈍化した一方、医療(同+2.4%→同+3.4%)、航空運賃(同▲5.2%→同▲2.5%)、教養・娯楽(同+2.5%→同+2.8%)などがこれを相殺する前月と似通った構図。
- 今月のエネルギーの下振れは自動車燃料(同+6.1%→同+3.4%)が主導したが、原油先物価格が足許で一段と上昇しており、来月以降は上昇率が再加速する公算が大きい。また、コア物価の中で上昇率が鈍化した費目は月毎の変動が大きいものが中心。BOEによる約10年振りの利上げ決定も、将来の追加利上げについてハト派的と受け止められたほか、メイ政権の求心力低下を不安視させるニュースフローが相次ぐなか、ポンド安が進行中。今後も輸入インフレによる物価押し上げが働きやすい。

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国：生産者物価の推移（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2016				2017									
		4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
消費者物価	(前期比)	0.6	0.5	1.1	0.5	0.7	0.4	0.4	0.4	0.0	-0.1	0.6	0.3	0.1	
	(前年比)	1.2	2.2	2.8	2.8	2.3	2.3	2.7	2.9	2.6	2.6	2.9	3.0	3.0	
コア消費者物価	(前年比)	1.4	1.8	2.5	2.6	2.0	1.8	2.4	2.6	2.4	2.4	2.7	2.7	2.7	
食料品	(前年比)	-1.8	0.3	1.9	2.6	0.2	1.2	1.5	2.1	2.3	2.6	2.1	3.0	4.0	
アルコール	(前年比)	-1.6	0.4	2.8	3.3	-0.2	2.0	2.0	3.0	3.6	3.6	3.7	2.6	2.9	
たばこ	(前年比)	4.7	5.6	6.1	5.5	5.1	7.0	6.3	6.2	6.1	6.0	4.9	5.4	5.3	
エネルギー	(前年比)	3.0	8.4	5.7	4.9	8.9	8.7	6.9	6.1	4.3	3.7	5.3	5.8	4.8	
住宅用燃料	(前年比)	-1.4	-0.1	3.8	5.2	-0.4	0.9	2.6	4.5	4.2	5.1	5.3	5.2	6.0	
自動車燃料	(前年比)	7.4	17.8	7.6	4.4	19.4	17.1	11.5	7.5	4.1	2.0	5.1	6.1	3.4	

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。